

有限会社M.A.C.Orchard（代表取締役 飯野 公一氏 南アルプス市）が第54回日本農業賞の「大賞」を受賞しました。

第54回「日本農業賞（個別経営の部）」の最高賞である「大賞」を、有限会社M.A.C.Orchard（代表取締役 飯野 公一氏 南アルプス市）が受賞しました。県内の果樹経営での大賞受賞は54回を数える日本農業賞の歴史において、初となる快挙となります。

日本農業賞は、日本放送協会（NHK）、JAグループが主催し、日本農業の確立をめざして、意欲的に経営や技術の改善にとりくみ、地域社会の発展にも貢献するとともに、食や農の担い手として先進的な取り組みを表彰しています（<https://agri.ja-group.jp/promote/prize>）。

今回、中北農務事務所がM.A.C.Orchardを推薦した個別経営の部には、全国から94件の応募があり、3件の大賞が選ばれました。

M.A.C.Orchardは、高齢化や後継者不足により耕作できなくなった農地を借り入れて規模拡大を進め、経営面積はモモ、ブドウ、カキで24haになります。

省力化栽培を徹底するとともに、労力の分散と平準化などによる収益性の向上を図るため、標高による生育差利用、早生から晩生の品種構成、省力的で労力競合が少ない醸造用ブドウ生産、6次産業化としてあんぽ柿加工を行っています。さらに、草生栽培、化学肥料・化学農薬の削減、労働環境・条件の整備や、新たな担い手の確保・育成にも努めています。

1ha未満の果樹経営体が約8割を占める山梨県において、全国的にも果樹経営では希な大規模経営モデルとして、高評価を得ました。



M.A.C.Orchard の皆様



審査会の様子